

学校安全に関する本校の取り組みについて、通信として紹介していきます。

本校は、2023年6月セーフティープロモーションスクール（SPS）の理念となる「7つの指標」に基づいて、本校独自の学校安全（生活安全・災害安全・交通安全）の推進を目的とした中期目標・中期計画を明確に設定し、その目標と計画を達成するための組織の整備とS（方略）-PDCAS（共有）サイクルに基づく実践を行い、認証申請書にまとめ、セーフティープロモーションスクール（SPS）に認証されました。

今年度は、SPS認証校として学校安全の取り組みをより円滑に進めることができるよう、組織の担当業務の再編を行いました。年度当初に昨年度までの取り組みと組織について研修を行いました。

また、第1回の学校安全推進委員会を受け、各チーム会議で、役割と年間計画の確認を行いました。ヒヤリハットから対応の共通理解や安全教育を設定する取り組みを進めると共に児童生徒の主体的な学校安全の取り組みの実践を計画しています。



## <今年度の取り組み>

### 4月4日(木) 嘔吐物処理研修

新学期が始まる前に、学校安全の実践研修として、児童生徒の嘔吐物処理の研修を行いました。スライドで処理の方法を共通理解した後、2グループに分かれ、それぞれ嘔吐物に見立てた対象物を、手順に沿って感染に気を付けながら適切な処理を実戦形式で学びました。実際の処理における留意点を職員全員で学ぶことができ有意義な研修になりました。



### 4月5日(金) さすまた講習会

不審者が侵入した際、さすまたを使用した対応方法について、小野警察署の方に講習をしていただきました。3人以上の複数でさすまたで対応することや、大きな声で威嚇すること、広い場所や狭い廊下を想定した動きについて学びました。いざという時に、子ども達の命を守ることができるよう、思い切って動く事大きな声を出す事ができるよう日頃から心がけていきたいです。



## 4月22日（月）交通安全教室

小野警察署と市民安全部の地域安全グループの方々の指導・協力のもと、信号機のある道路の歩行、自転車の乗り方について、交通安全教室を実施しました。歩行・自転車ともに、小野警察署の方からのアドバイスを聞き、クラスごとに実践練習を行いました。歩行では、交差点の左右確認や信号機の見方と待ち方を中心に行いました。車との接触の危険がある箇所の確認も行いました。自転車では、一旦止まって安全を確認する場面や、一度自転車を降りて横断歩道や踏切を渡る場面などコースの設定を工夫して貰い、なぜ危ないのかその場で教えてもらいながら実践練習を行うことができました。最後に、歩行・自転車ともに、学んだことを9年生がみんなの前で実践披露しました。1つ1つ確認しながらお手本を示すことができました。子ども達の成長や学びを実感でき、充実した交通安全教室になりました。今後も毎年、継続することで、交通安全についての意識や理解を積み重ねていきたいです。また、年度内にも校外学習や歩行訓練の機会を設定し、学んだことを実際の場面で確認し、生活キャンプや修学旅行での安全な行動へとつなげていきたいと思ひます。



## 校外学習前のヒヤリハット、支援体制の確認

5月2日（木）の新入生歓迎会でひまわりの丘公園に行きました。新しい学年で、新しい職員で初めての校外での活動でした。混雑が予想される公園での活動を安全で楽しく活動できるように、過去のヒヤリハット事例を情報共有し、役割を明確にした支援体制の確認をしました。当日は、現場でも確認し合い、安全に楽しく活動することができました。

### スイスチーズモデルの考え方

スイスチーズは大きささまざまな穴が開いているのが特徴です。安全対策に置き換えた時に、スイスチーズが安全対策で、チーズの穴が脆弱な部分とします。ヒューマンエラーが連鎖的に発生し、全ての穴を通り過ぎてしまうと重大事故やトラブルに発展してしまいます。こうした事故やトラブルを防ぐには、ヒューマンエラーが3枚の穴を通り過ぎてても、4枚目、5枚目のチーズによって防ぎ、穴を突き抜けることができないようにすることです。未然にあらゆるリスクから安全対策を考えてチーズ（防護壁）の数を増やし、ヒューマンエラーの連鎖が穴を通るのを防ぐことが重要で、行事や校外に出る時だけでなく、日頃から心掛けていきたい考え方です。

